

こんなに凄い人たち、応援してみませんか？

Tarzan®

特別編集

2012
ロンドンへの道

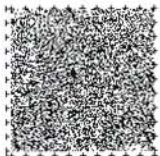
東京都スポーツ振興局と
『ターザン』とのコラボ企画。
4年に一度の祭典に向けて、
障害者アスリートたちの
熱い夏への熱き想いに迫った！

「ターザン」の登録商標は、米国エドワード・ライ
ス・パローヌ社と「株式会社エッジ」の登録
によって使用されています。Trademark TARZAN
owned by EDGAR RICE BURROUGHS, INC.
and used by permission.

スポーツ・フォー・ オール

【音声コード】

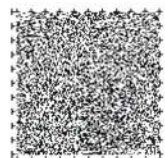
読み上げ装置にて、内容を
音声で聞くことができます。





② 012年5月4日。東京・千駄ヶ谷にある東京体育館では、車いすバスケットの日本選手権が開催された。その決勝戦のコートに、宮城MAX（マックス）の藤本怜央は、いた。「東京体育館のセンターコートでプレーをすることが、どれだけ特別なことを、改めて噛みしめてました」

車いすバスケット歴10年、日本一のセンターに成長。
宮城MAXは、08年から3年連続優勝している。昨年は東日本震災のため日本選手権は急遽、中止に。仙台市内に住む藤本は、職場で被災。いつも練習している体育館の一つは完全に壊し、別の体育館は避難施設になった。そんななか2年ぶりの開催となった今年の日本選手権で宮城MAXは大会4連覇を達成。藤本は史上最多となる8度目の得点王に輝いたのであった。藤本は小学3年の時に、交通事故で



取材・文/宮崎恵理
撮影/名古屋士、浅原満明
(共にエックスワン)
イラストレーション/山下良平
協力/日本航空



2年ぶりの東京体育館から世界の得点王を目指す。

藤本怜央 車いすバスケット(右膝下切断)

右脚膝下を切断。父親がスポーツ少年団のバスケットチームを指導していたことから、義足でバスケットを始めたという。中学でもバスケット部に所属した。藤本が車いすバスケットに出会ったのは、高校3年の時。宮城県で行われた全国障害者スポーツ大会に陸上選手として出場した際に、宮城代表チームの試合を見て、衝撃を受けた。

「車いすバスケットを見たら、義足より全然スピードも速いし、自由自在にバスケットをしてる。オレは、これがやりたいんだって、直感したんです」

進学先を仙台市内の東北福祉大に絞り、宮城MAXの門を叩いた。

それまで義足で歩行していた藤本にとって、いちばん最初に立ちちはだかった力背が「車いすを操ること」だった。わずかな時間を見つけては体育館に出



車いすバスケットの聖地・東京体育館で行われた日本選手権。



日本代表選手のうち7名が宮城MAXに在籍。また宮城MAXの岩佐義明監督が代表監督を兼任する。

向き、あるいは坂道を利用してひたすら車いすで走り込んだ。

04年アテネ、08年の北京と、2大会連続でパラリンピックに出場。「北京の後、尊敬する大島(朋彦)選手から『お前が次の日本のエースだ』

と云われて、意識が明確に変わりました」

北京以降、初めて練習ノートをつけるようになった。毎日、ノートのいちばん上には「チーム目標ベスト4!」と大きく書き記す。ロンドンに向けて、マテリアルサポートをしてくれるサプリメント会社社のスポーツジムで筋力トレーニングに励み、チーム練習、日本代表合宿をこなしてきた。

「筋力を強化したことで選手同士のぶつかり合いでも負けなくなったし、テイルティング(片方の車輪を持ち上げて行うシュート)でも、すごくバランスがよくなりました」

ロンドン・パラリンピックでも、藤本は筋肉の鎧をさらにまとい、日本車いすバスケットチームをぐいぐいと牽引していくことだろう。

Fujimoto Reo

●ふじもと・れお 1983年、静岡県生まれ。小学3年で交通事故により右脚膝下を切断。持ち点4.5。日本選手権初出場で得点王とベスト5に選出される。撮影協力/元氣ワールド、ボディプラスインターナショナル

→ 車いすバスケットとは?

車いすバスケットボールは、一般のコート、ゴール、ボールを使用し、ゲームは10分間×4ピリオドで行う。選手には障害の程度に応じ1.0~4.5の持ち点があり、コート上の5人の合計が14.0点を超えてはならない。

